

授業科目名： 解剖学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 北原秀治 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・生理学（運動生理学を含む。）		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) 人体の各器官系の構造と機能を理解し説明できる。</p> <p>(2) 運動力学の基本的内容について理解し、運動を科学的に説明することができる。</p> <p>(3) 運動に関わる身体各部分の構造や機能について説明できる。</p>			
授業の概要			
人間の体の各パーツの構造と名前、そして機能を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを学修する。人体解剖学及び組織学の知識は、外傷や病気を理解する基礎となるため、この知識を基に、医学に関する知識を養う。			
授業計画			
第1回：解剖組織学総論（4大組織と体の構造） 第2回：解剖学1：骨学（骨、関節の構造） 第3回：解剖学2：筋学（骨格筋、平滑筋、心筋） 第4回：解剖学3：消化器1（口腔～肛門） 第5回：解剖学4：消化器2（肝、胆、膵） 第6回：解剖学5：循環器（心臓、肺、血管、リンパ管） 第7回：解剖学6：呼吸器（気管、肺、呼吸の生理） 第8回：解剖学7：泌尿器、生殖器 第9回：解剖学8：中枢神経（脳、脊髄） 第10回：解剖学9：末梢神経1（脳神経） 第11回：解剖学10：末梢神経2（脊髄神経） 第12回：解剖学11：感覚器1（視覚、聴覚、平行覚） 第13回：解剖学12：感覚器2（味覚、嗅覚）、外皮 第14回：解剖学13：炎症性疾患、外傷（骨折、脱臼）、腫瘍性疾患の病態学 第15回：解剖学14：骨、筋の生理学、体の恒常性 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
「解剖学 改訂第2版」 岸清著（全国柔道整復師学校協会監修） 医歯薬出版、978-4-263-24155-4			
参考書・参考資料等			
クラスルームにて指示する。			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			